



へいわをつくろう！

へいわをじつげんするひとびとは、さいわいである、
そのひとたちはかみのことよばれる。
(マタイ 5・9)



イエスさまのまわりには、たくさんのひとが あつまりました。イエスさまは、さらに たかいところに のぼりました。「ほんとうのしあわせ」についてはなしたかったのです。でも、それは みんなが かんがえていたこととは ちがいました。



そのころのひとたちは、「おかねやものをたくさんもっていること」が しあわせだと おもっていました。だから おかねもちのひとたちは、びんぼうなひとを あまりたすけませんでした。けれども、イエスさまは いいます。



「ほんとうにしあわせなひととは、こころが やさしくて、ただしいことをしようとするひとです。こまっているひとを たすけて、けんかをせず、へいわをつくるひとです。」そのひとは、かみさまに しゆくふくされて、「かみのこ」とよばれるでしょう。



あるひ、パキスタンのサミナのがっこうでは、さいごの じゅぎょうは ずこうでした。みんなは すこしづかれています。なんにんかのこどもたちは、あそびはじめて、きょうしつを ちらかしてしまいました。



サミナはかなしいきもちになりました。せんせいはそのとき いまいませんでしたが、すぐにもどってきそうでした。サミナは みんなに「やめようよ」といいました。



でも、みんなは はんだいて けんかになりそうでした。サミナはもつかなしいきもちになりました。それでも、たたかわずに みんなをあいするようになりました。するとすこしづつきょうしつにへいわがもどり、みんながあやまってくれました。みんながまた ともだちになれて、サミナもみんなもうれしいきもちになりました。